剣道『単元プログラム』の開発

- 「安全で緊張感のある試合」の成立を目指した

授業展開の工夫ー

長期研修員 上原昌弘

研究構想図

生徒も教師も満足のいく剣道の授業

安全で緊張感を楽しめる試合

基本動作と 基本となる技の習得 攻防の仕方の考え方 緊張感を楽しめる試合

- ・一本の弾力的運用
- ・有効打突の見極め

中学3年生得意技の習得

中学2年生 身に付けた技で相手 との攻防 中学1年生 基本動作を生かした用

対人技能

中学3年生 試合3 正式な試合

中学2年生 試合2 簡易試合

中学1年生 試合1 判定試合

剣道『単元プログラム』の開発

実態 生徒→「怖そう」「痛そう」「臭そう」 ■ 教師→「指導方法」「所作」「審判」が難しい

	阿维 中于 241 年生 展光計画
単元構造図	单元計画 (2000年) (
学習まる技の精選	学年の目的に応じて技を配置
1.00 (2.00 (The state of the s
オールフェック と発揮し、打ち込むことができる。	
展開業 海底の場面点 DVD 海底の場面点 DVD 海底の場合。	指導用DVD
スパイラル型の学習過程。	展開案に完全対応
第一	



成果

教師…教材研究時間短縮。

DVDがあるので指導がしやすい。

生徒…毎時間の授業の流れが分かりやすい。

試合に向けての練習は楽しい。

課題

剣道独特な動きのつまずきへの指導·支援の開発 防具のない学校でも日本の伝統文化を学ぶ授業の開発

剣道を学ぶこととは

日本の伝統文化の一つである剣道を学ぶことは、運動の楽しさや醍醐味、技術の習得・活用にはとどまらない。剣道特有の人としての礼儀・他者を尊重し向き合う態度・困難に負けない気力と克己心や忍耐力などを養うことができる。剣道の授業を通して生涯にわたって自らを鍛え向上させることや健康な身体・豊かなスポーツライフへとつながっていくはずである。